

接着材料併用金属系アンカー

認証取得者 所在地 連絡先	ユニーク株式会社 千葉県市川市大野町3-1976 TEL047-337-8311 FAX047-338-4572	
商品名	ハイブリットきのこアンカーU-120	
接着剤の材質	エポキシ樹脂	
工法・製品認証名	ハイブリットきのこアンカー	
認証番号	第19-0016号	
認証有効期間	2019年9月13日 ~ 2024年9月12日	

別添資料

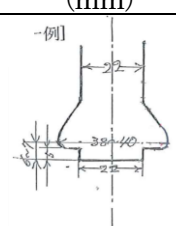
【穿孔方法・穿孔機械】穿孔機械

作業	機械	作業	機械
下穴穿孔	ハンマードリル	孔内清掃	吸引とブローの出来る掃除機
	ドリルビット		ワイヤーブラシ
拡底	ハンマードリル		330cc カートリッジ, ロングノズル付
	アンダーカッター		

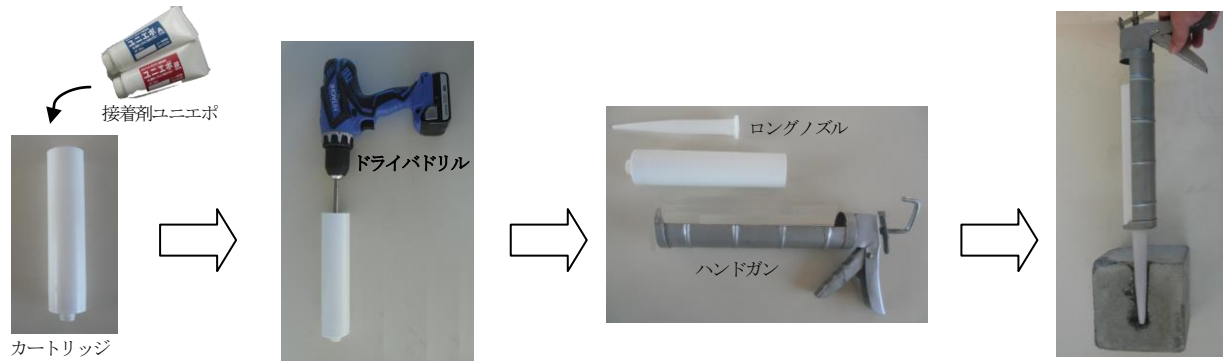
穿孔方法

- ①ドリルビットを取り付けたハンマードリルで穿孔する。
- ②専用アンダーカッターを取り付けたハンマードリルで下穴を拡底する。
- ③吸引とブローが出来る掃除機とワイヤーブラシを用いて削り屑を取り除く。

【ドリル径と許容差、穿孔深さと許容差】

品番	下穴用ドリルビット			拡底用アンダーカッター		
	ドリル径 (mm φ)	許容差 (mm)	穿孔深さ (mm)	許容差 (mm)	拡底部径 (mm φ)	拡底部深さ (mm)
U-120	22	0~+0.3	120	0~+0.5	38~40	

【接着材料（主剤、硬化剤、骨材、添加剤）の混合方法、充填方法】



1. カートリッジ内に接着剤ユニエポを流し込む
2. ドライバドリルで攪拌する。
3. ハンドガンにセットする。
4. 穴に注入する

認証内容

1. 適用範囲	(1) 適用範囲	耐震改修のアンカー筋類、設備機器類の固着、非構造部材の固着、什器類の固着	
2. 施工	(1) 施工資格者	日本建築あと施工アンカー協会認定第一種施工士取得者かつ申請工法の施工に精通している者	
	(2) 穿孔方法・穿孔機械	別添資料による	
	(3) 施工方向	下向き	
	(4) ドリル径と許容差、穿孔深さと許容差	別添資料による	
	(5) 孔内清掃方法	吸引とブローが出来る掃除機とワイブラシを用いて充分削り屑を取り除く	
	(6) 接着材料（主剤、硬化剤、骨材、添加剤の混合方法、充填方法	別添資料	
	(7) アンカー筋固着方法および養生方法	穴に接着剤を注入後、アンカーを挿入し、ヤイでアンカーを保持しながら1kgハンマーで叩いて拡底させる。	
	(8) 施工時および施工後の環境条件	外気温 $-5^{\circ}\text{C} \sim 80^{\circ}\text{C}$ 穴に水が入らないようにする	
	(9) 施工品質管理	カタログによる	
	3. 構成部品	(1) アンカー筋の形状・寸法・許容差	カタログによる
(2) アンカー筋の材質		異形棒鋼 JIS G3112 SD345 D19	
(3) アンカー筋の強度		カタログによる	
(4) アンカー筋の硬さ・靱性		本体を打撃し、各部位に割れ、欠け、ゆがみ等を生じない。	
(5) ねじの等級・外観・表面処理		カタログによる	
(6)		1) 容器の材質	ポリエチレン製タックチューブ
		2) 容器の形状・寸法・内容量とこれ等の許容差	カタログによる
(7) 内容物（主剤、硬化剤、骨材、添加剤）の重量と許容差		200g~202g で収まるように各充填機で充填	
(8) 接着剤の材質		カタログによる	
(9) 硬化後の接着剤の物性		カタログによる	
(10) 製造時品質管理（接着剤）	カタログによる		
4. 製品	(1) 簡易セット試験前後の形状・寸法・許容差	別カタログによる	
	(2) アンカー筋の強度	3. 構成部品の (3) と同じ	
	(3) アンカー筋の硬さ・靱性	3. 構成部品の (4) と同じ	
	(4) 製造時品質管理（アンカー筋）	カタログによる	
	(5) 接着材料の付着強度	3. 構成部品の (9) と同じ	
	(6) 母材の種類	普通コンクリート	
	(7) 母材の設計基準強度の範囲	$18\text{N/mm}^2 \sim 36\text{N/mm}^2$	
	(8) 終局引張耐力算定式又は数値	破壊形式に応じて適用する式 (1) ~ (2) に対して95%以上の信頼性を有している。 ①付着破壊したアンカーの引張耐力 (T_{db}) $T_{db} = \tau_a \cdot \pi \cdot d_a \cdot l_e \quad (1)$ $\tau_a: \text{付着強度で } 6.0\text{ (N/mm}^2\text{) とする。}$ ②アンカー筋が破断したアンカーの引張耐力 (T_{mu}) $T_{mu} = \sigma_u \cdot \alpha_0 \quad (2)$ $\alpha_0: \text{アンカー筋の最小断面積 (mm}^2\text{)}$ $\sigma_u: \text{アンカー筋の素材の材料強度 (N/mm}^2\text{) で次式による。} (\sigma_u = 1.1\sigma_y)$ $\sigma_y: \text{アンカー筋の規格降伏点 (N/mm}^2\text{)}$	
	(9) 引張剛性	下記の条件を95%以上の信頼性を持って満足している。 $\min[2/3T_{my}, 0.4T_{db}]$ 時における軸方向の変位量 δ が0.3mm以下 $\min\{T_{my}, 0.6T_{db}\}$ 時における軸方向の変位量 δ が1.0mm以下 T_{my} : アンカー筋の降伏引張耐力 ($T_{my} = \sigma_y \cdot \alpha_0$) (3)	
	(10) 終局せん断耐力算定式又は数値	次式に対して95%以上の信頼性を有している。 $Q_{nu} = 0.4\sqrt{E_c \cdot \sigma_g} \cdot \alpha_0$ 但し $500 \leq \sqrt{E_c \cdot \sigma_g} \leq 900$ (N/mm ²) (4) $Q_{nu} = (\sigma_u/\sqrt{3}) \cdot \alpha_0$ (5) Q_{nu} : 母材コンクリートの支圧破壊により定まるあと施工アンカーのせん断耐力計算値 (N) E_c : 母材コンクリートのヤング係数 (N/mm ²) σ_g : 母材コンクリートの圧縮強度 (N/mm ²) α_0 : アンカー筋の最小断面積 (mm ²) Q_{nu} : アンカー筋のせん断破壊により定まるせん断耐力計算値 (N) σ_u : アンカー筋の素材の規格引張強さ (N/mm ²)	
	(11) せん断剛性	0.60 Q_{nu} 時又は0.60 Q_{mu} 時における水平変位量が5mm以下または0.3d (d: アンカー筋の呼び名) 以下であることに対して95%以上の信頼性を持って満足している。	